

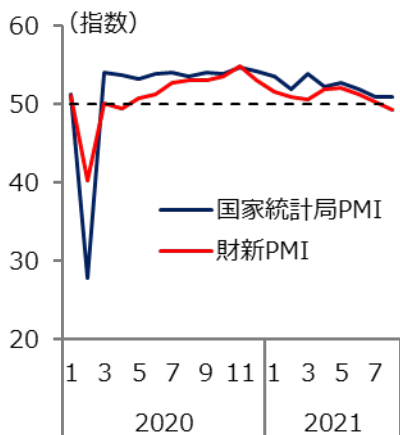
中国

製造業PMI（2021年8月）

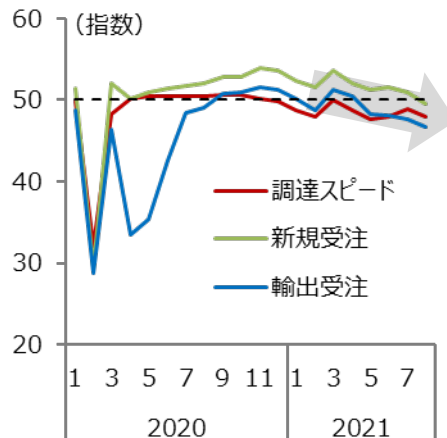
製造業PMIが悪化－高まる欧米向け輸出の重要性－

政策・経済センター
金成大介
03-6858-2717

1 製造業PMI

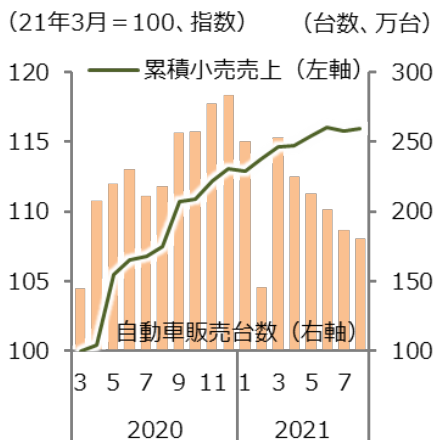


出所：Wind、Bloombergより三菱総合研究所作成

2 受注・輸出・調達の業況
(中国国家统计局PMI)

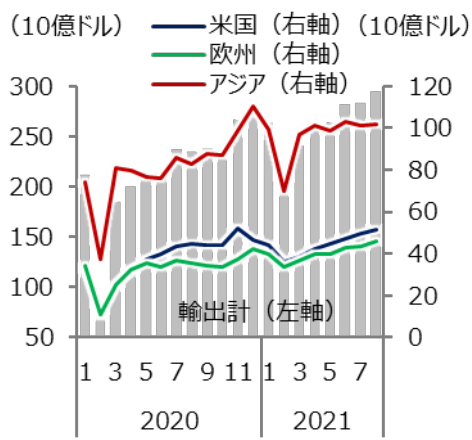
出所：Windより三菱総合研究所作成

3 小売売上高と自動車販売



出所：Windより三菱総合研究所作成

4 輸出

注：アジアは、日本・韓国・台湾・香港・アセアン向け輸出の合計
出所：Windより三菱総合研究所作成

評価ポイント

今回の結果

- 中国国統計局公表の8月の製造業PMIは50.2、財新公表の8月の製造業PMIは49.2と景況感の改善と悪化の分岐点とされる50近辺にまで低下し、景況感が悪化している（図表1）。
- 中国国統計局PMIでは、調達スピードおよび国内外受注の景況感が50を割り込み低下基調にあり（図表2）、世界経済が直面している原材料・部品の供給不足に加えて、今後の受注への懸念が景況感悪化の背景と考えられる。

基調判断と今後の流れ

- 国内消費に目を向けると、小売売上高の伸び率は鈍化、自動車販売も減少傾向にあり前年割れが続いている。世界に先駆けての新型コロナの感染抑制により、中国経済の早期回復を引っ張ってきた国内消費は、ここに来て減速感が強まっている（図表3）。
- 習国家主席が8月に入り表明した「共同富裕」の実現は、中長期的には国内消費の底上げにつながる可能性はある。但し、先行的に実施されているIT企業や芸能界などへの締め付け強化は、短期的に国内消費へネガティブな影響をもたらす懸念があり、国内消費の急回復は想定しがたい。
- 一方で、8月の輸出額は前年同月比25%超の増加となり、景況感の悪化に比して好調を維持している。地域別には、今年に入り新型コロナの感染拡大や供給制約から経済活動が停滞しているアジア向け輸出は横這い傾向にあり、好調な輸出は欧米向け輸出に依るところが大きい（図表4）。
- アセアンのワクチン接種率の遅れや供給制約を考慮すると、アジア向け輸出の急回復も想定しがたい。欧米にとって中国向け輸出が重要なだけでなく、中国の製造業にとっても欧米向け輸出の重要性は高まっている。
- 9月9日に7カ月ぶりに米中首脳の話話会議が開催された。国内製造業にとって欧米向け輸出の重要性が高まる中、中国が経済安全保障や人権問題にかかわる欧米からの圧力へ、どのような対応を示すかに注意が必要であろう。